

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市子ども夢パーク	評価対象年度	平成24年度
事業者名	事業者名 川崎市子ども夢パーク共同運営事業体 代表者名 公益財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 金井 則夫 川崎市中区今井南町514-1 構成員名 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば 理事長 西野 博之 川崎市高津区千歳435-10	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 85,597人	②年間延べ利用団体数 652団体																						
収支実績	<table border="1"> <tr> <td>1 収入</td> <td>単位:円</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>62,333,330</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>62,333,330</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費・賃金</td> <td>20,095,140</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>3,414,601</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>8,929,047</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>1,554,684</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>28,123,312</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>62,116,784</td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td>216,546</td> </tr> </table>		1 収入	単位:円	指定管理料	62,333,330	合計	62,333,330	2 支出		人件費・賃金	20,095,140	光熱水費	3,414,601	委託費	8,929,047	消耗品費	1,554,684	その他経費	28,123,312	合計	62,116,784	3 差引	216,546
1 収入	単位:円																							
指定管理料	62,333,330																							
合計	62,333,330																							
2 支出																								
人件費・賃金	20,095,140																							
光熱水費	3,414,601																							
委託費	8,929,047																							
消耗品費	1,554,684																							
その他経費	28,123,312																							
合計	62,116,784																							
3 差引	216,546																							
サービス向上の取組	指定管理以前からの運営ノウハウを生かし、川崎市子どもの権利に関する条例の理念に沿った事業展開を実施していた。また、利用者との意見交換を定期的に行い、サービス向上に取り組んでいた。																							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	5	5
	(評価の理由)	当初計画にない事業として、『大震災の被災者を想い「ふるさと」の合唱』を毎月実施した。高い利用者数を記録し、充実した事業展開の成果が表れており、利用者数は、第1期指定管理時と比較して、約23.5%の増であった。 【参考】第1期指定管理時(平成18年度～平成22年度)年度平均利用者数:69,296人			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	4	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	4	8
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか				
	(評価の理由)	指定管理者の内規に基づく、適正な会計処理が行われた。新たに掘った井戸の水を活用することで、水道料金の削減を図り、生ゴミを堆肥化することで畑の充実と経費削減に努めるなど、様々な取組を行っている。また、日頃から、提供を受けたい物品などの広報を行うことで提供されたものを最大限有効活用することで、経費のかからない事業を展開した。			
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	5	5
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	4	8
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	5	10
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
	(評価の理由)	広報誌を配布し、ホームページを公開する他に、新聞・テレビ・ラジオ・地域情報誌などの取材を積極的に受入れた。その結果として、平成24年度で各メディアで計33回紹介されている。「利用者懇談会(夢パークをつくり続ける会)」を毎月開催し、意見交換を行うことで、利用者の意向に配慮した事業運営を行った。市職員・県公立学校教員などを受入れ、体験研修・実習などを複数回行った。			

組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由) 必要な有資格者が採用され、計画どおりの人員配置が行われた。また、予定どおりの研修が実施された。 個人情報の取扱いについては、内規に基づき適切に運用された。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 修繕の必要な箇所を把握し、適正な修繕を行っていた。 事故等が発生した場合のマニュアルが整備され、適切な対応がなされていた。 防犯に係る緊急時のマニュアルが整備されており、計画にある防犯のための取組が実施されていた。 災害発生時のマニュアルが整備されており、法定訓練等が実施されていた。					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

4. 総合評価

評価点合計	75	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価
A(90点以上):特に優れている、B(80点以上90点未満):優れている、
C(60点以上80点未満):適正である、D(40点以上60点未満):改善が必要である、
E(40点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市子どもの権利に関する条例の理念が生かされる象徴的な施設として、子ども及び利用者の意見を十分に聞き、施設の管理運営がなされていた。また、今年度は、利用者数が開設以来最高を記録し、充実した事業展開がされていた。
各種広報媒体の活用をはじめ、他都市からの多数の視察の受入などにより、施設・事業・関係条例などの周知に努めていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、青少年の体験学習や子どもの居場所づくりのため、適切な管理運営を行うこと。各種広報媒体等の更なる充実に努めること。
大規模災害にも備えた防災体制の強化に努めること。